



広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

- 北陸放送 【ほっと石川】 令和3年1月9日(土) PM5:15~5:30
- 石川テレビ 【ウイークリーいしかわ】 毎週日曜 PM5:25~5:30
- テレヒ金沢 【ぶんぶんセブン】 令和3年1月17日(日) AM7:00~7:30
- 北陸朝日 【石川ほっとニュース】 毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報

- 北陸放送 【県からのお知らせ】 毎週火・金曜 PM2:30ごろ (3分間)
- エフエム石川 【素敵にモーニング】 毎週日曜 AM9:55~10:00

公式SNS

Twitter Instagram LINE LINE(新型コロナ)

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/> Eメール e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 TEL: 076 (225) 1100 ※広報いしかわ内の料金は全て税込み表示です。

県政 この一年

新型コロナウイルス感染症対策

●感染拡大防止に向けた対応

4月に複数のクラスター(患者集団)が発生するなど、感染者が急増したことから、「石川県緊急事態宣言」を発出しました。その後、国の特措法に基づき本県を含む13都道府県が「特定警戒都道府県」に指定されたことを受け、休業要請等を行いました。協力していただいた中小企業及び個人事業主に対して感染拡大防止協力金を支給しました。



また、高齢者施設など重症化リスクが高い集団でクラスターが発生した場合に備え、「いしかわクラスター対策班」を発足させたほか、施設間で相互に応援職員を派遣する「いしかわ福祉施設相互応援ネットワーク」の運用を開始しました。

●検査・医療提供体制の強化

検査体制の強化を図るため、ドライブスルー方式により、安全で効率的に検体採取できる「いしかわPCR検体採取センター」を開設しました。また、県医師会との集合契約により

県内全域の身近なかかりつけ医等で、検査を受けられる体制を構築しました。さらに、重症者や重症化のおそれがある方への入院医療に支障が生じないよう、無症状や軽症の感染者の療養施設として金沢市内の宿泊施設を借り上げたほか、厚生労働省が示した新たな患者推計に基づき、病床確保計画を策定しました。

●事業継続や雇用の維持に対する支援

感染症の影響を受けた事業者を資金面から支援するため「新型コロナウイルス感染症緊急特別融資」を開設しました。また、県税における徴収猶予の特例制度のほか、中小企業等が感染拡大防止のために用意する資材等の経費を補助する「感染拡大防止対策支援金」を開設しました。さらに中小企業及び個人事業主の事業継続を後押しするため、国の持続化給付金や家賃支援給付金を受給した事業者に上乗せして支援を行う「石川県経営持続支援金」及び「石川県家賃支援給付金」を開設しました。



中小企業が雇用を維持していくために、雇用調整助成金を円滑に利用できるよう、いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC)及び県内のすべての商工会議所・商工会において、専門家による個別相談会を開催したほか、ILAC内に再就職相談窓口を開設しました。

●事業者の前向きな取り組みへの支援

事業継続に向け、自ら活路を見出す前向きな取り組みを行う中小企業を幅広く支援するため「新分野チャレンジ緊急支援費補助金」や、新たな需要を取り込むための新技術・新製品開発や、コロナ時代に適応する設備導入を支援する「経営イノベーション支援プログラム事業」を開設しました。また、県内受注企業が県外発注企業に対して製品や優れた技術等をPRする商談会をオンラインで開催し、県内企業の受注獲得を後押ししました。



●移動の段階的緩和などを踏まえた社会の正常化へ対応

厳しい経営環境にある観光産業を県民挙げて応援していただくため、県民向けに県内宿泊旅行商品を割引販売しました。その後、GoToトラベル事業を利用して本県に宿泊される方々へ特産品をプレゼントする「GoToいしかわ」特産品プレゼントキャンペーンを開始しました。また、県内の飲食や観光事業者が、業種別のガイドラインを遵守した感染予防対策



を実践していることを、県民や観光客に分かりやすくアピールするため、「石川県新型コロナ対策取組宣言」を開始しました。学校の休校に伴う授業の遅れを取り戻すため、各学校に教員を志望する大学生を学習サポーターとして配置しました。また、教員が児童・生徒への授業に注力できる体制を整備するため、学習教材の印刷・配布や消毒作業などの補助を行うスクールサポートスタッフの配置を大幅に拡充しました。

本県のさらなる発展に向けた魅力創出

●金沢港の機能強化整備と賑わいの創出

今年で開港50周年を迎えた金沢港では、金沢港機能強化整備事業が完成しました。これにより、クルーズ乗船客の利便性向上を目的とした「金沢港クルーズターミナル」が新たにオープンしました。掘込港湾を利用した港内一部のライトアップもっており、新たなにぎわいの拠点になっています。



●金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の完成と加賀百万石回遊ルートの形成

金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」が完成しました。これにより、長町武家屋敷跡から尾山神社を経て金沢城、兼六園、本多の森公園に至る、加賀百万石回遊ルートが新たに形成されました。

●国立工芸館の開館

政府関係機関の移転による地方創生のモデルケースとして、日本海側初の国立美術館となる「東京国立近代美術館工芸館」(通称・国立工芸館)が兼六園周辺文化の森に移転し開館しました。建物は国の登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎・金沢信託社を移築・活用しました。



●「ダブルラダー輝きの美知」構想の推進

のと里山海道の4車線化、金沢外環状道路、加賀湾産業道路など、広域道路ネットワークの整備を推進しました。



●いしかわの個性の更なる磨き上げ

金沢城二の丸御殿の復元可能性について「金沢城二の丸御殿調査検討委員会」の調査検討結果報告がありました。今後は史実に沿った「表向」の復元整備を目指し、取り組みを進めることとしています。そのほか、首都圏アンテナショップやいしかわ動物園のリニューアル、兼六駐車場第1期建設工事の完成、新県立図書館の整備推進など、本県の魅力を一層高める取り組みを行いました。さらに「緑付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技・木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定しました。

将来にわたり本県経済を支える強い産業づくり

●IoT/AIの高度技術人材育成

近年、IoT/AIを実装する高付加価値製品が市場で求められていることから、こうした製品を開発できる高度技術人材を育成するため、石川県・コマツ・早稲田大学による包括連携協定を締結し、早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」を開講しました。



●戦略的な企業誘致の推進

シフトプラス(株)のサテライトオフィスの増設や、中川産業(株)、SCSKニアショアシステムズ(株)、UHT(株)、TANIDA(株)、(株)ミンラック、(株)NTTデータスマートソーシング、シャープ(株)の生産拠点等の新増設が決定しました。

●移住・定住と県内就職の促進

ILACを通じた移住者数が開設4年間で1,400人を突破しました。また、オンラインを活用してUIターン希望者と県内企業のマッチングを実施したほか、県内企業と学生の出会いの場を創出するため、オンライン会議システムを活用した合同企業説明会を実施しました。



●特色ある県産農林水産物のブランド化

魅力ある農林水産物のブランド化をより一層進め、農林水産物を産業として発展させるだけでなく、本県の魅力向上につなげるため、全国初となる「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」を制定しました。また、石川酒米「百万石乃白」を使用した日本酒が市場デビューしたほか、「ルビーロマン」大阪市場出荷10周年を記念したイベントを開催しました。

県民生活の安全・安心の更なる確保

●安全で良質な地域医療の安定的な確保

平成22年度から進めてきた県立中央病院建設事業が完了しました。また、県立高松病院の管理診療棟について、建築後50年以上が経過し、老朽化や狭隘化が進んでいることから、改築することとし、第1期工事となる管理棟、検査棟、リハビリ棟が完成しました。



●安全・安心と豊かな社会づくり

豚熱の経口ワクチンの散布や県内すべての飼養豚に対するワクチン接種など豚熱防止総合対策を実施しました。また、若者の結婚や出産に対する希望をかなえ、安心して子どもを生育させることのできる社会の実現を目指し、「いしかわエンゼルプラン2020」を策定したほか、県立高等学校において、全ての普通教室への冷房設備の整備を完了しました。

●自然と人が共生できる社会づくり

クマの秋の主要なエサ資源であるブナの大凶作に伴い、市街地などでのクマの出没が予想され、人身事故の危険性が高くなったことから、10年ぶりに出没警戒情報を発令しました。また、いしかわ動物園でライチョウの自然繁殖に成功し、国のライチョウ保護増殖事業として本種の飼育が始まって以降、那須どうぶつ王国とともに、初めての事例となりました。



令和2年の主なあゆみ(年表)

- 1月 ● 豚熱防止総合対策の実施(～12月)
- 2月 ● 金沢城二の丸御殿調査検討委員会の調査検討結果の知事報告(4日)
- 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催(21日 以降21回開催)
- 県立学校の一斉臨時休校(休校期間は一部の学校を除き2日～19日、4月9日～5月29日)
- アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」のリニューアルオープン(6日)
- 県立中央病院建設工事の完工式(20日)
- 新型コロナウイルス感染症特別融資の開創(25日)
- 「石川県の特色ある農林水産物を創り育てるブランド化の推進に関する条例」の制定(26日)、施行(4月1日)
- 雇用調整助成金個別相談会の開催(26日～)
- いしかわ就職・定住総合サポートセンターを通じた移住者数が開設4年間で1,400人を突破(31日)
- 「いしかわエンゼルプラン2020」の策定(31日)
- 金沢港機能強化整備事業の完成
- 厚生労働省へのクラスター対策班派遣要請(11日～14日、24日～26日、5月11日～15日)
- 県有施設の休館・休園(11日～5月31日)
- 「石川県緊急事態宣言」を発出(13日)
- 新型コロナウイルス感染拡大に係る石川県緊急事態措置(16日～5月31日)
- 無症状・軽症者用宿泊療養施設の開設(16日)
- 施設の使用停止要請(21日～5月31日)
- 自衛隊への災害派遣要請(27日～5月31日)
- 県税における徴収猶予の特例制度の開始(30日)
- 石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金の創設(30日)
- 石川酒米「百万石乃白」を使用した日本酒の市場デビュー
- オンラインを活用した就職・転職活動イベントの開催(～12月)
- 新型コロナウイルス感染症緊急特別融資の開創(1日)
- 県民向けマスク購入券の配布(11日～15日)、販売(18日～6月10日)
- 高等学校の普通教室への冷房設備の整備完了(15日)
- 感染拡大防止対策支援金の創設(18日)
- 新分野チャレンジ緊急支援費補助金の創設(18日)
- 金沢港クルーズターミナルのオープン(1日)
- いしかわPCR検体採取センターの開設(8日)
- 県民向け県内宿泊応援事業の実施(8日～8月31日)
- いしかわECOアプリの運用開始(12日)
- 金沢中央観光案内所のオープン(19日)
- 日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に白山市・志賀町が追加認定(19日)
- 再就職支援の開始(ILACにおける窓口開設等)(29日)
- 石川県経営持続支援金の創設(30日)
- 白山室堂公衆トイレの供用開始(1日)
- 経営イノベーション支援プログラム事業の開創(1日)
- 石川県新型コロナウイルス感染症対策支援基金の設置(2日)
- 石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の開催(10日、8月7日、9月7日)
- 病床確保計画の策定(10日)
- いしかわ就職企業ガイダンス2020夏の開催(15日～18日)
- 能登半島の学校給食での提供開始(15日)
- 金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の完成、ライトアップの拡充(18日)
- 兼六駐車場第1期建設工事完成式(18日)
- 金沢港水産市場見学体験事業の開始(26日)
- 「ルビーロマン」大阪市場出荷10周年を記念したイベントの開催(30日～31日)
- 学習サポーターの配置、スクールサポートスタッフの大幅拡充
- いしかわ動物園オーストラリアの平原リニューアルオープン(1日)
- 「石川県新型コロナ対策取組宣言」の開始(7日)
- 石川県家賃支援給付金の創設(11日)
- ふるさと納税返礼品贈呈の開始(17日)
- 「GoToいしかわ」特産品プレゼントキャンペーンの実施(1日～)
- 石川県・コマツ・早稲田大学による包括連携協定締結式、運営コンソーシアム設立会議(2日)
- 「いしかわ金沢 風と緑の楽園音楽祭2020秋の陣特別公演」の開催(6日～12月25日)
- 新型コロナウイルス感染症の検査に関する集合契約の締結(7日)
- 国民文化祭基本方針に関する有識者会議の開催(8日)
- オンライン商談会の開催(国内)(10日～)
- 石川県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の中間提言提出(11日)
- 早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」の開講(14日)
- いしかわ動物園「ふれあい体験施設(仮称)」建設工事起工(26日)
- 高松病院管理診療棟改築工事第1期工事の完成(29日)
- 木場湯公園東園地造成工事の本格化(1日)
- いしかわクラスター対策班発足式(7日)
- ツキノワグマの出没警戒情報の発令(8日)
- 北陸新幹線に関する緊急要望(9日、11月20日、12月11日)
- ライチョウの自然繁殖の成功(9日)
- Go To Eat購入引換券の配布(12日～)、販売開始(26日)
- 海女採りさざえの学校給食での提供開始(16日)
- 国立工芸館の開館(25日)
- いしかわ福祉施設相互応援ネットワークの運用開始(29日)
- 石川県発熱患者等受診相談センターの開設(30日)
- 東京2020オリンピック聖火歓迎セレモニー、聖火の展示(7日)
- 与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームへの報告内容に係る地元説明(12日)
- 金沢港開港50周年記念式典(29日)
- いしかわ工場・施設環境ISOの登録(1日)
- 金沢城公園埋蔵文化財調査の現地説明会(5日)
- オンライン商談会の開催(海外)(7日～)
- 与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの申し入れに対する国土交通大臣からの回答(16日)
- 「緑付金箔製造」を含む「伝統建築工匠の技・木造建造物を受け継ぐための伝統技術」のユネスコ無形文化遺産登録決定(17日)